



蒲郡文化

No.239

蒲郡市栄町 3 番 30 号

蒲郡市文化協会

TEL・FAX(0533)68-5509

URL <http://www.gamagorishibunkyo.jp>

E-mail g.bunka@lion.ocn.ne.jp

八百富神社と七福神踊り



蒲郡市副市長

賛 年 宏

新年あけましておめでとうございます。

私は、昨年の 4 月に副市長を拝命いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、新しい年を迎え、蒲郡のシンボルである竹島に初詣に出かけられた方も多いと思います。鳥居には新しいしめ縄が飾られていて、清々しい気持ちでお参りすることができます。

ところで、竹島の対岸にある遥拝所をはじめ、参道の階段、宇賀神社、千歳神社、八大龍神社などのしめ縄は、毎年、竹島のお膝元、東府相常会のみなさんが手作りしていることをご存じでしょうか。

材料となる藁は、新城市の四谷千枚田から運び、住民総出で 10 本以上のしめ縄を製作します。新しいしめ縄は、12 月 31 日と 8 月の第 1 日曜日に奉納され、参拝される方をお迎えしています。みなさんも八百富神社を参拝される際には、しめ縄にも注目してみてください。

八百富神社では、昨年、御開帳と呼ばれる『八百富神社巳年式年大祭』が行われ、ちょうど御開帳 300 年の記念の年でした。1 か月以上にわたり、日本七弁天の一つである木造弁財天像の一般公開や豊川市国府町の大社神社の氏子が八百富神社を参拝するなど、様々な行事が行われました。

私が生まれた竹島町の東府相常会では、八百富神社の祭礼の際に七福神踊りを奉納しており、昨年の御開帳には、八百富神社の本殿内で七福神踊りを奉納しました。

蒲郡市内においては、三谷町北区、清田町橋詰、竹谷町町組、形原一区、竹島町東府相の各地区において、「七福神踊り」が受け継がれていますが、東

府相の七福神踊りは、弁財天を擁する点で、他の地区とは大きく異なります。



写真：本殿にて七福神踊りを奉納

踊りについても市内の各地区の「綱」「杖」「鈴」に加えて、

そもそも時は
養和の初め 花の弥生に
江州は竹生島より
此の竹島に渡り給いし
みすがたなり

で始まる「弁天踊り」があり、昭和 4 年の大祭以降に加えられたと伝わっています。

七福神踊りで現在使用されている面も昭和 4 年に製作されたものであり、竹島が国の天然記念物に指定されたのが昭和 5 年、初代の竹島橋（永久橋）が完成したのが昭和 7 年ですので、この頃の竹島周辺はさぞかし賑やかであったことが想像されます。

東府相に伝わる「七福神綱踊りの唄」には、
安芸に宮島 近江の湖水に竹生島
相模に江ノ島 三河の竹島 画より見事
との一節があります。

美しい竹島の風景はもちろんのこと、各地区の七福神踊りも伝統文化として末長く後世に引き継いでいただくことを願っています。

浦添市文化協会来訪

10月31日(金)～11月2日(日)

平成25年以来、久しぶりに蒲郡市文化協会と浦添市文化協会との交流が行われました。

1日目：市長表敬訪問、歓迎レセプション



14:04
セントレア到着

16:15
市長表敬訪問



10月31日、浦添市文化協会24名を中部国際空港にて出迎えました。16時蒲郡市役所に到着。3名が市長表敬訪問をし宿泊ホテルに入りました。

歓迎レセプション 於：蒲郡ホテル



18時より蒲郡ホテルにて歓迎レセプションが開かれました。

蒲郡市長はじめ来賓、文化協会員等75名参加の中、歓迎のことば・訪問のことばの後アトラクションが始まりました。まず蒲郡市吹奏楽団9名により、楽しいおしゃべりと手拍子で「アンダー・ザ・シー」など4曲の演奏。

浦添市は古典芸能組踊部会の名嘉正光氏の「かぎやで風節」の踊りから始まり、琉球民謡部会の三線・歌など6曲が披露されました。美しい衣装と優雅な手の動き・体の使い方、そして指笛も交えて、会場全体が沖縄の風に包まれているようでした。和気あいあいの懇親会の締めくくりとして沖縄の代表的な歌「島人ぬ宝」の大合唱と、「蒲郡音頭」を皆で踊り、交流を深めあいました。



2日目：西尾市（歴史公園、旧近衛邸、岩瀬文庫）、竹島、交流会

2日目は、お茶の街西尾に行きました。西尾城では、観光ボランティアさんより、天守台や角櫓、野面積み等の説明を受けました。浦添からの交流団24名の皆さんはお元気で、積極的にお話をされました。次に立寄った近衛邸は、京都から移築された数寄屋造りの書院と茶室から成り、平成7年に西尾歴史公園内に再建され、お抹茶のサービスがされています。この近衛邸で、お抹茶と栗入りのお菓子をいただきました。とてもおいしかったとは「イシペークワシチーサビタン」と言うそうです。その後立寄ったお食事処は、碾茶御飯がメインのお店でした。

午後は、岩瀬文庫からです。西尾の実業家岩瀬弥助が、明治41年に創設した私立の文庫です。今は大河ドラマでお馴染みの蔦屋重三郎の展示物を楽しむ事ができました。

西尾の見学はこれまでとなり、蒲郡に戻りました。竹島園地でのファッションショー「GAMA LOVE FES(ガマラブフェス)」の見物まで30分位あったので、お元気な方達は、橋を渡って八百富神社に参詣されました。



交流会 於：勤労福祉会館



交流会が17時より19時まで、勤労福祉会館で行われました。5つのグループに分かれて討議をし、文協の会員が減っている対策の一つとして、小中学生にも文化に触れる機会を作る事等提案されました。

最後に蒲郡音頭を浦添の方達と一緒に踊ったり、琉球民謡を披露されたりして、和やかな雰囲気の中に2日目は終わりました。

3日目：市民会館（市民文化祭見学）、市民博物館

10月31日から始まった蒲郡市民文化祭を見ていただいた。



9時にホテルに迎えに行き、市民会館に着いたところで、まず正面玄関で記念写真を撮りました。

最初に、大会議室の茶席に皆さんで入っていただいた。

東ホールで行われている、書道・工芸展を見ていただいた。
途中、鈴木市長が見えたので皆で記念写真を撮りました。



東玄関前ピロティー広場にて、菊花展を見ていただいた。



博物館の方に移動して、ギャラリーで行われている絵画展を見ていただき、博物館の学芸員の案内で、2階の常設展の説明を聞いた後、全日程を終え帰路につかれました。



今年度は、中ホールが使えず大会議室での開会式典となった。

市民

開会式典

10月31日(金) 10時～
大会議室

アトラクション

箏曲部会

《曲目》

1. 落葉の踊り
2. 月沢村の宵祭り



市民茶会

大会議室 11月2日(日)

表千家
200人ほどの人がお茶を楽しんだ。

書道・工芸展

東ホール

10月31日(金)～11月3日(月)

出品点数 書道155点
工芸 62点

参観者 633人



華道展

東ホール

11月15日(土)・16日(日)

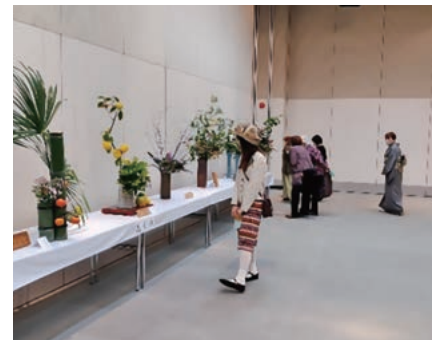
出品点数 46点
参観者 625人

水石展

中会議室

11月15日(土)・16日(日)

出品点数 29点
参観者 200人



短歌会

東会議室

11月2日(日)

俳句会

大会議室

11月23日(日)



短歌会入賞者

愛知県教育委員会賞

俵 朝子

アボガドの種ころころと転がれり

九月のキッチンまだまだ暑し

愛知県文化協会連合会賞

橋本満寿代

採れたての野菜が何より贅沢と

帰省の子等は焼きなすを食む

蒲郡市長賞

鈴木 照子

頑なに心閉ざした入院時

会う度夫は明るくなりぬ

蒲郡市議会議長賞

中村 文子

あとひとつ思ひ出せないあと一つ

認知機能検査の空白

蒲郡市教育委員会賞

志賀 清助

万博の夜空を彩るドローン

花火に代わる先端技術

蒲郡市教育委員会賞

後藤 厚巳

電線が太々と見ゆる茜空

妖しきまでに燃ゆる夕雲

蒲郡市文化協会賞

小野田初枝

補聴器をはずし無音の泌み通る

歌集をひらく秋の夕暮れ

蒲郡市文化協会賞

廣濱 洋子

コカリナにて月の沙漠を奏でたり

愛しき木の音神社に納む

佳作

水野絹子 鈴木憲治 堀井道子

小林あさ 森 厚子 太田文子

文化祭

芸能発表会

11月2日(日)・9日(日)

今年は、日曜日だけ中ホールの使用ができる、という事で芸能発表会が二週にわたり洋楽発表会は大ホールではなく中ホールでの開催となった。



洋楽発表会

11月16日(日)



箏曲発表会

11月23日(日)



菊花展覧

愛知県議会議員賞
愛知県教育委員会賞
愛知県文化協会連合会賞
蒲郡市長賞
蒲郡市議会議長賞
蒲郡市農業協同組合長賞
蒲郡市信用金庫理事賞
中日新聞社賞
蒲郡市教育委員会賞
蒲郡市教育委員会賞
蒲郡市文化協会賞
蒲郡市文化協会賞

稲石 アキ
羽田喜久司
小林 春枝
村松 捷二
小田 安秋
樋山 利枝
河井 宏幸
竹内 正喜
白川 元重
野沢 良雄
北部公民館
金田 武久
児玉 守正

川柳入賞者〔募集句の部〕

蒲郡市議会議長賞 来本 芳子
不都合をザクザク食べるシュレツダー
蒲郡市文化協会賞 星野 秀子
孫はしゃぐすいかごろごろばの畑

俳句会入賞者〔募集句の部〕

愛知県教育委員会賞 牧原 克子
新造の船に校旗や天高し
愛知県文化協会連合会賞 小野田初枝
紅さして訪問医待つ生身魂
蒲郡市長賞 長崎マユミ
万葉の歌碑立つ岬島渡る
蒲郡市議会議長賞 田中まるこ
秋澄むや紙工房の水の音
蒲郡市教育委員会賞 大場 安子
群青の海へ連れ立つ秋つばめ
蒲郡市文化協会賞 溝口スミ子
秋高し山を越えるる鳶の笛

俳句入賞者〔当日句の部〕

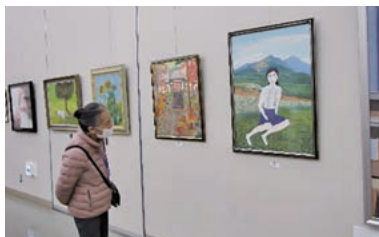
蒲郡市長賞 鬼頭 幸子
冬紅葉水の底より紅放つ
蒲郡市議会議長賞 前田タネホ
隠し事おでんの湯気に口すべる
蒲郡市教育委員会賞 市川あづき
ガチャマンを語る母居て縁小春
蒲郡市文化協会賞 渡辺みつ子
ぽつくりと橋の長きや七五三

市民文化祭

絵画展

10月31日(金)～11月3日(月)

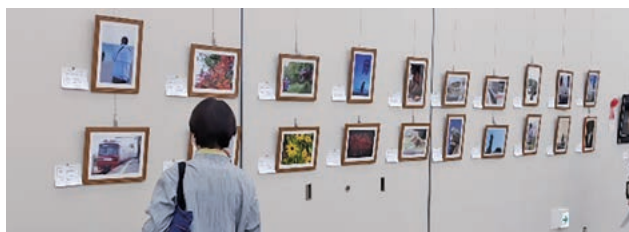
出品点数 49点
参観者 470人



写真展

11月14日(金)～16日(日)

出品点数 80点 参観者 518人



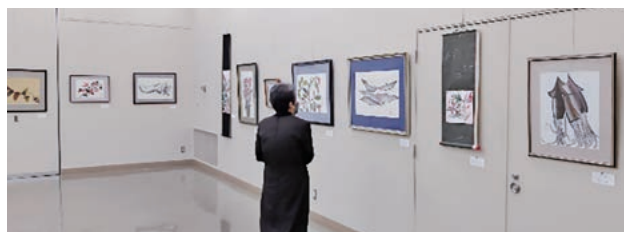
博物館ギャラリー会場



水墨画展

11月21日(金)～23日(日)

出品点数 60点 参観者 470人



文化財めぐり

齋宮歴史博物館

王朝文化の美と国宝を堪能

今年の文化財めぐりは三重県の齋宮歴史博物館、商業リゾート施設VISON、専修寺の三ヶ所を訪れた。11月19日、参加者60名、バス2台で8時30分に蒲郡を出発。天気予報では今季最高の寒い一日とのことであったが、幸い風がなく寒さに悩まされることもなく各所を回ることができた。

最初の齋宮歴史博物館では20分の「齋王群行」という映像作品を観てから学芸員の説明と案内で館内を見学した。「齋王」とは天皇が即位する



と皇族の女性の中から選ばれて伊勢に派遣され、伊勢神宮に仕える人のことであり、天皇が譲位するたびにまた新しく占い（卜定）で選ばれて伊勢に派遣されたそうだ。「齋王」という言葉が

初めて見られるのは奈良時代のことで、その後武士が台頭してくる鎌倉時代まで続いたそうである。

次は令和3年に多気町にオープンした商業リゾート施設のVISON。東京ドーム約24個分の広大な敷地に10エリア、約70店舗があり、食事や買い物ができる。1時間の滞在ではすべてを回することは無理だったが、お土産などを買うことができた。

最後の専修寺は三重県では初めて国宝に指定された御影堂、如来堂を有する真宗高田派のお寺である。3時半頃の到着だった。僧侶に案内されて木造では国内5番目に大きいという御影



堂に入ったが、4時には寺自体が閉まるというので県文化財指定の親鸞聖人の像は拝観できず、堂内を出てからの説明も駆け足で終わってしまった。今回の文化財巡りで一番残念なことだったが、晴天に恵まれ、高速道路沿いの黄葉もきれいで、楽しく過ごせた一日だった。

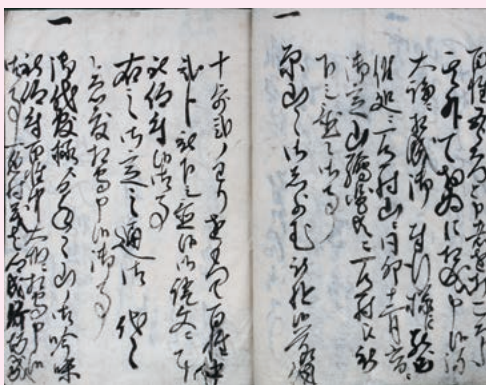
学芸員のつぶやき(5)

江戸時代の争論の犠牲者—五郎助か五郎右衛門か—

江戸時代の蒲郡では、村同士の争論（^{ソウロン}争い）が頻発していました。なかでも、寛文元年（1661）、深溝村と一色村の間で起こった争論は、死傷者が出るほど苛烈なものでした。

この争論で亡くなった百姓の名前は「五郎助」と伝わっており、現在の蒲郡市一色町宝喜神社には「五郎助」を顕彰した「桑原五郎助の碑」があります。

ところで、現在、博物館には、「山御尋帳」という古文書が収蔵されています。この古文書は、宝暦11年（1761）に一色村により記されたもので、山のいわれを書き上げて領主に差し出したものの控です。ここには争論の舞台となった「小原^{オハラ}山」のいわれも記されています。そして、この



小原山のいわれの中でも特に注目されるのが「一色村百姓五郎右衛門と申者を打ころし」という

記述です。この記述に依拠すると、争論で亡くなった人の名前は、「五郎助」ではなく、「五郎右衛門」であったといえます。

では、実際に争論で亡くなった人の名前は、石碑にある「五郎助」、古文書にある「五郎右衛門」、どちらなのでしょう。

壁谷弥助編『形原』（町部青年連合会、1925）には、「今より貳拾年前其行に感じ、一色金平の有志相計り、墳墓を大字一色字明德二十五番地内に建設し、北部青年会員は今も之が除を怠らず」とあります。つまり、争論から244年を経た1905年（明治38）の時点で、地元（一色町・金平町）の人々は、争論で亡くなった百姓を「五郎助」と認識して、墳墓を築いたことが分かります。

一方で「山御尋帳」は、争論から100年後に記されたものです。つまり、争論から100年後の時点で、地元（一色村）の人々は争論で亡くなった百姓を「五郎右衛門」と認識していたことが分かります。

以上を踏まえますと、争論が発生した時代により近い史料である古文書のほうが、信ぴょう性のあるものとして選択できそうです。そのため、現在まで伝わる「五郎助」ではなく、「五郎右衛門」である可能性が高いといえるのではないのでしょうか。

博物館学芸員：安井俊祐

● ● ● 会 員 ピ ア ザ ● ● ●

全三河書道百選展

豊橋展 9月23日(火)~28日(日)

於：豊橋市美術博物館

岡崎展 9月30日(火)~10月5日(日)

於：岡崎市美術館

にて行われた。



開軒50周年記念演奏会 市民会館中ホール

篠田多美子氏の、開軒50周年記念演奏会「地歌箏曲の調べ」が10月19日(日)市民会館にて開催された。



「今日まで私を導いて下さった師匠や支えて下さった方々に感謝の気持ちを形にして御披露することができ皆様からの温かい拍手が、またこれから次世代へ繋げていく為の大きな力となりました。美しい箏の音色を大事にして、精進してまいります。」と、篠田多美子氏はおっしゃっていました。

お 知 ら せ



蒲郡市文化協会 文化事業 スパイラル コンサート

スパイラル プロフィール

結成は1979年（昭和54年）

当初は7人編成のインストロメンタルバンド

現在はボーカルも加わり13人編成

20代から70代のメンバーは全国でも珍しい

主なジャンルはジャズ・フュージョン・ラテン



日 時 2026年2月11日（祝・水）

開 場 14：30

開 演 15：00

場 所 蒲郡市市民会館 東ホール

入場料（全席自由） 前売券・当日券 ¥500

（※前売券が完売した場合は、当日券の販売はございません。）

チケット取扱い

蒲郡市文化協会事務局 0533-68-5509

（月、水、木、金 9：30～16：30）

蒲郡市市民会館窓口 0533-67-5151

（火曜日定休 9：00～17：00）

主催 蒲郡市文化協会

共催 蒲郡市教育委員会

問合せ先

蒲郡市文化協会 事務局

〒443-0035

蒲郡市栄町3番30号（蒲郡市市民会館内）

TEL・FAX 0533-68-5509



第14回 文化事業

2月11日（水・祝）

市民会館東ホール

開場14：30 開演15：00

《チケット発売中》

前売券・当日券 500円

文協事務局又は市民会館窓口にて

☎0533-68-5509 / ☎0533-67-5151



第57回

いけばな



- と き 令和8年3月7日（土）～8日（日）
9時～17時（但し8日（日）は16時まで）
- と ころ 蒲郡市市民会館（2階）東ホール
- 主 催 花月流 秀月会
- 後 援 蒲郡市教育委員会
蒲郡市文化協会

何卒ご高覧の上、ご指導賜りますようお願いいたします。

家 元 早 瀬 恵 雲
秀月会 会 員 一 同

図 書 館 の 催 し 物 （問合せ TEL69-3706）

絵馬展	1月 4日（日）～ 1月18日（日）
切り絵展 図書館展示 20 回記念	1月31日（土）～ 2月 8日（日）
ボードゲームで遊ぼう	2月 1日（日）
英文多読ひろば	2月 8日（日）、3月 8日（日）、4月12日（日）
認知症予防の会（博物館出前講座「蒲郡 いまむかし」）	2月13日（金）
大人のためのゆる～い読書会	2月15日（日）
ねこのおはなし会	2月22日（日）
企画展「国際理解のすすめ ーモザンビーク農村の生活から学ぶ多様性ー	2月11日（水・祝）～ 2月23日（月・祝）
<トークイベント>国際協力とは？ モザンビークの現場から考える（近藤加奈子氏）	2月23日（月・祝）
春の特別展「おはなしおばさんのかわいい仲間たち」	3月 1日（日）～ 3月29日（日）
認知症予防の会（出前講座「防火教室」）	3月13日（金）

博 物 館 の 催 し 物 （問合せ TEL68-1881）

昔の遊びコーナー	1月 6日（火）～ 1月25日（日）
蒲郡っ子作品展	1月23日（金）～ 1月25日（日）
企画展「三河地震と戦争と」ー体験談が迫る隠された大災害ー	1月10日（土）～ 2月23日（月・祝）
ミニ展示「ひなまつり」	1月31日（土）～ 3月 8日（日）
第 41 回 写真集団「雲」作品展	2月11日（水・祝）～ 2月15日（日）
おじさんとおにいさんの模型展示会（プラモデル）	2月21日（土）～ 2月22日（日）
開運の招き猫版画を刷る	2月22日（日）
第 5 回がまぷら プラレール運転会	3月14日（土）・15日（日）
第 23 回手織場展	3月20日（金・祝）～ 3月22日（日）
斉藤幸子 個展（日本画）	3月27日（金）～ 3月29日（日）

市 民 会 館 の 催 し 物 （問合せ TEL68-5509）

月例茶会	2月 1日（日）
第 57 回いけばな花月展	3月 7日（土）・8日（日）
月例茶会	3月15日（日）